みなと新聞

発行日　令和三年三月十日
発行者　みなと校区運営協議会

22号

みなと校区の事業
今年度の行事については、新型コロナウイルスの影響で殆どが中止又は規模縮小となっています。
また、7月の豪雨被害により明るい街づくり募金以外の募金活動は行っていません。

報告

十月
校区一斉清掃（二五日）
みなとっ子通学合宿（中止）
十月
グラウンド・ゴルフ大会（中止）
十二月
暴力追放市民総決起大会（二六日）
カチカチ防犯火の用心（二八日）
一月
新年理事懇親会（中止）
二月
研修視察旅行（中止）

大変励まされました

9月の運営協議会でみなと小学校の馬籠校長先生から3年生が作成した励ましの手紙をいただきました。
各町内の公民館長さんを通じて水害の被害に遭われたお宅に届けられました。
数に限りがあり、全戸には届けることができず申し訳ありませんでした。
受け取られた方は、大変感激され、励まされたと感謝しておられました。
みなと小学校の3年生の皆さんありがとうございました。

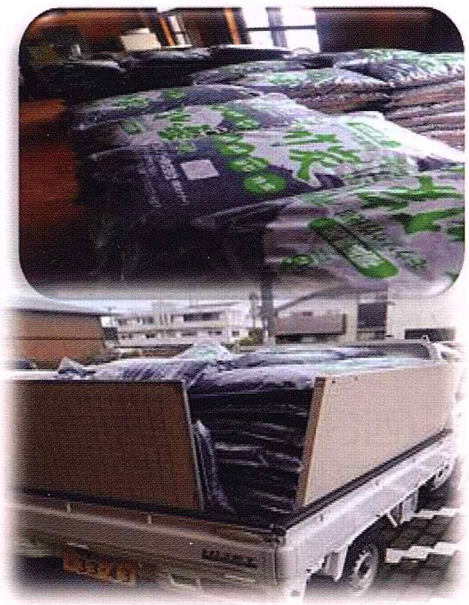






元気づけられましたと喜びの山下さん、小佐々さん

11月20日竹炭を配付



竹炭460袋を三川、上屋敷、入船、高砂、船津、天領の各地区へ配りました。
希望された数のとおり配ることができず申し訳ありませんでした。
また、竹炭の確保については苦労しましたが、三池校区まちづくり協議会様からご支援いただきました。ありがとうございました。心から感謝いたします。

11月21日被災者支援冬物衣料の無料配布

八社神社境内と上屋敷公園で冬物衣料の無料配布が行われました。これは、天領校区まちづくり協議会、隣人支援プロジェクト実行委員会によるもので、冬を迎える前に水害の被害に遭われた方々には大変ありがたいものでした。会場には、コート、ジャージ、ジャケット、スカート、セーター等が並び、たくさんの来場者で大盛況でした。天領校区のみなさん心のこもった支援、ありがとうございました。衣料だけでなく元気までいただきました。







11月24日生活支援指導員、補助員が水害被害者宅を巡回

社会福祉協議会に支え合いセンターが設置され、11月24日から生活支援指導員等が被災された方々の安心した日常生活を支え、見守り、生活再建の総合的な支援を行うため、みなと校区の家々を訪問しました。



出発前の打合わせ

1月14日みなと校区出前市長室

1月14日、19:00からのみなと校区「出前市長室」に先立ち、10時から運営審議会役員が三川ポンプ場、船津ポンプ場、三井水門、旧船津中学校を案内しました。

現地では、市の担当者から浸水対策の取り組みについて説明を受け、市長や担当者へ質問や要望が出されました。夜は、コロナの緊急事態宣言下の関係で20時までの限られた時間でしたが、浸水対策、避難場所としての整備等様々な質疑応答がありました。市長は、旧船津中学校グラウンドのかさ上げに取り掛かるほか引き続き被災者に寄り添って支援していくとコメントしました。







検証委　豪雨対策の甘さ　市へ提言！（西日本新聞から抜粋）

豪雨災害検証委員会は、浸水の原因と対策、三川ポンプ場の耐水化、浸水対策、市民への情報発信などについて提言書を市長へ手渡しました。